

広報たかつき

知る 広がる 好きになる

TAKATSUKI

Days

令和6年

4

No.1433

自然を楽しむ



PICK UP

- 10 令和6年度施政方針
- 16 誰にとってもやさしいまちへ
- 20 プレミアム付商品券第6弾 デジタルがお得で便利
- 22 特殊詐欺被害防止サポーター
- 24 高槻・富田ジャズストリート



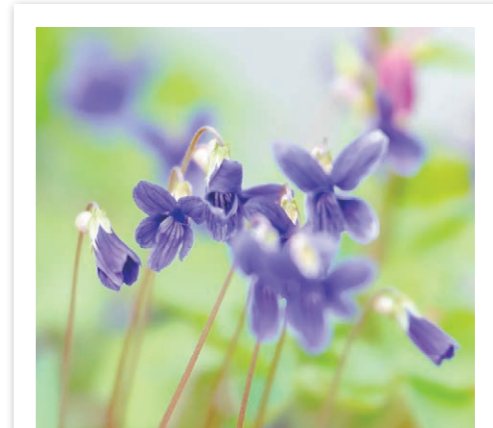
春、高槻で出合える野花たち



カンサイタンポポ
3～5月。在来種のひとつで花びらの付け根部分がとじている。淀川河川敷や芥川下流の土手に

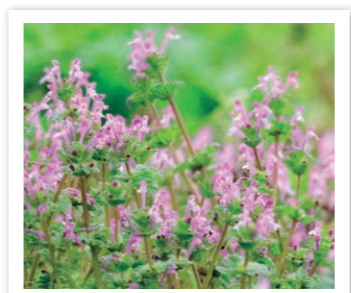


シロツメクサ
4～5月。津之江公園、高槻城公園、今城塚古墳公園などの公園や淀川河川敷で多く見られる

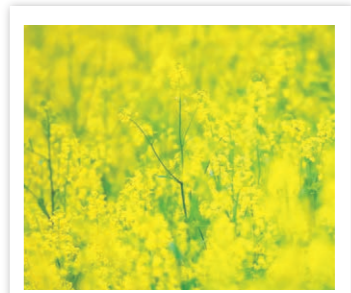


スミレ
4～5月。野山だけでなく自然が残る公園や、河川敷などに。アスファルトの割れ目にも

ネジバナ
4～8月。淀川河川敷に群生。芥川緑地、津之江公園でも見かける



ホトケノザ
3～6月。春の七草とは別の種。畑やあぜに多く、安満遺跡公園でも



セイヨウカラシナ
3～4月。芥川大橋以南の土手に。淀川河川敷の菜の花畑は風物詩



いつもの道で / お出かけで

身近な草木に季節を楽しむ



いつもの場所で発見する変化が毎日をちょっと楽しくする

ふと目に飛び込む優しい色、鼻腔をくすぐる香り。街路樹や公園、道端に咲く花に、季節の変化を感じたときの頬がゆるむ感覚。今日のつぼみが明日はどう姿を変えているのか、そんな楽しみがあるだけで心がふわりと柔らかくなる気がする。まちなかにも自然が多い高槻では、通勤や送り迎え、買い物などで通るいつもの道に、小さな感動が散りばめられている。野に咲く花の気取らない美しさに目を向けて、忙しい毎日で眠っていた感性を呼び覚ましてみて。

名前がわかると楽しさアップ!

植物図鑑アプリがあれば便利!

スマホで写真を撮るだけで「これは何?」が検索できる

※花の画像は市民から提供
Naoto Nishioka (@nnao10) さん (2ページ)
大倉清教さん (3ページ) ネジバナは除く

自然の花を見るとほっこり、落ち着きます

教えてくれた人

たかつき環境市民会議 里山グループ
辰巳英輔さん



高槻では春になるとあちこちで草花が咲いています。土手や河川敷、原っぱやあぜ、公園、道路の脇など。公園なら津之江公園がおすすめです。今まで見逃していた草花に気づくといとおしくなってきますよ。

まちじゅうどこでも
多様な自然とふれあえる穏やかさ

緑や花がある空間は、やすらぎや癒しをくれる。散歩や休日のお出かけ——オフ時間に四季折々の自然を感じながら過ごすのも、高槻では難しくない。公園や散歩道は、よく見ると、場所ごとに個性がある。普段は行かない方向へ行動範囲を少し広げてみるだけで、知らなかった景色はまだある。



- 1 山の自然にふれるなら萩谷総合公園へ。これからの季節は森林浴にもぴったり
- 2 堤防沿いと緑地の両方の自然を楽しめる芥川緑地。芥川沿いはどこでも植物の宝庫
- 3 今城塚古墳公園で草花を見つけるなら墳丘や堤の周り、歩道脇などの草むら
- 4 高槻城公園の散歩路や東側の芝生ゾーンはまちなかのリフレッシュ空間

ここおすすめ
癒され公園 & 散歩道

5~6月には
市民の花・卯の花
がキレイ



上の池公園
昔からの地形や自然を生かした公園で、池を半周する木陰の道がこちいい



新川堤防
小川沿いの遊歩道は地域の人が手入れする季節の花々が楽しめる



淀川堤防・河川敷
三島江から大塚、鶴殿・上牧までの淀川の堤防や河川敷には自然がいっぱい



緑が丘公園
木々の種類が多く緑豊か。自然を身近に感じながらゆったりと散歩できる



玉川の里
番田井路沿いの並木道は四季折々に表情を変える南部の穴場



季節の草木を飾る楽しみ
高槻の自然と暮らすしあわせ

店で買う花もいいけれど、道端や庭先の身近な草花にも、高槻の自然が育んだ素朴な味わいがある。野の花や草木の美しさを家の中に取り入れて、テーブルや棚はもちろん、キッチンなどの水まわり、窓際や玄関、階段の途中など、暮らしの動線にさりげなく飾ってみて。ドライフラワーなどにすればナチュラルなインテリアにも。自然とつながる住まいは、家族はもちろん、訪れた人もなごませてくれるはず。

草木を / 山菜を

おうちの中で 季節を楽しむ





1



2



3



4

1 さっと揚げた熱々を塩で。ほくほくの食感とほろ苦さが口いっぱいに広がる 2 たけのことふきのごはんは春の香り。山菜を変えて風味の違いを楽しんで 3 せりは鍋にもびったり。独特の香りに元気がもらえそう 4 ペースト状にしたよもぎを白玉や餅と混ぜ合わせるだけ。子どもと一緒に作っても楽しい

高槻の春を届ける 山菜たち



自然の恵みを
楽しんで春を感じて



教えてくれた人

たかつき環境市民会議 チャレンジンググループ
青野峰子さん

高槻は自然が身近で、知るほどに好きになりました。春はとくに野山に行くのが楽しく、山菜も味わえる季節です。大地の滋味が詰まった山菜特有の風味は、まさに春の味。自然の豊かさを五感で楽しめます。

自然とふれあう休日に
春の味覚が余韻を添える



休日はちょっと足をのばして、森をめざしてみるのもいい。高槻なら市街地から市営バスや車で約20～30分で野山が広がっている。すがすがしい空気に癒された帰り道は、直売所などに寄って山菜をゲットする楽しみも。天ぷらで、おひたしで。春のごちそうを味わいながら、自然の力をたくさんもらった一日を振り返る。

高槻のおすすめハイキングコース ID 004471

つくし



3～4月。芥川や淀川の土手などに多い。アク抜きして佃煮や卵とじに

せり



4～5月。春の七草のひとつで、生でもOK。ゆでるならサッと

のびる



3～4月。あぜや芥川の土手沿いなどに。サッとゆでて、好みの調味料で

よもぎ



3～5月。野原や土手などに自生。ゆでて混ぜごはんにしても

ふきのとう



2～4月。春を告げる山菜の代表格で、ほろ苦い独特の風味

うるい



4～6月。生ならサクッとした食感で、火を入れると軽いぬめりが

※国や市などが管理する公園などは「植物採取禁止区域」「自然保護指定地域」と書いてなくても基本は採集NG。山や田んぼなどを含め、私有地と思われる場所についても必ず許可を。有毒種との間違いにも要注意